



青陵サポーター



皆様、日頃よりたいへんお世話になっております。

最近、女子プロレスラーの木村花さんという方が、22歳という若さで自ら命を絶たれたというニュースを目にしました。SNSで誹謗中傷されていたことが原因ではないかと言われているようです。同じ年頃の子を持つ親として、本当にやるせない気持ちになりました。

この件の真相はどうかは分かりません。ただ、私は弁護士なのですが、実際、SNS上の誹謗中傷によるトラブルについての相談は近年増えているなあと思います。

SNSでの誹謗中傷をしてしまった場合、ケースによっては名誉棄損罪等の罪になることもあります。また、被害者に対して損害賠償（被害者に与えた心の傷などの損害に対する償いのお金を支払うこと）をしなければならないこともあります。

でも、お金を払ったとしても、誹謗中傷した事実が消えてなくなるわけではありません。誹謗中傷を受けた側の辛い気持ちは残りますし、命を絶ってしまっているとき、命は戻ってきません。誹謗中傷をしてしまった側も、人に被害を与えてしまったということについて、自責の念を抱え続けることとなります。

ですから、まず大事なものは、予防です。

発信する側のときは、発信する前に、何のために発信するのかを考えて、それに応じた発信の仕方（どこで、どういう範囲の人に発信するのか等）をするようにした方が良いでしょう。なお、予防しきれず酷い書き込み等を受けてしまった場合は、抱え込まず、できるだけ早めに相談していただきたいと思います。

書き込む側の場合、それが匿名で書き込めるものである場合は、まず「自分の名前を出しても書ける内容か」ということを考えてほしいと思います。匿名であることが、誹謗中傷がエスカレートしやすい一つの要因になっているからです。なお、匿名であっても、内容に問題があるもの場合は、裁判等の手続きを取れば、誰が書き込んだかということ特定することは可能です。

また、「相手が、自分の尊敬する人だったら、この書き込みをするだろうか」ということも考えてほしいと思います。もし、相手が自分の尊敬する人だったら、絶対書き込んだりしない、というようなことなのであれば、それは誰に対しても書き込んではいけないことなのだと思います。

最後に、もうひとつ。

私は、自分の意見を持ち、それを言葉にして伝えることは、とても大事で尊重されるべきことだと思います。SNSについても、それが人を貶める場となっただけとはいえないということであって、意見を伝えたり議論する場として利用することは、自由であってよいと思います。

「ペンが剣よりも強し」という言葉があります。もともとは歴史劇の中の権力者側の台詞だったようですが、それが転じて、権力に屈しない言論の精神や学びの力をうたう言葉となりました。ちなみに、慶應義塾の校章は、この言葉に由来するのだそうです。

青陵生たちには、ペン（言論）が、剣（暴力）以上に、人（の心）を傷つけることがあることにまで配慮しながら、ペンの力を身につけ、ペンの強みを活かして、自分の道を切り開いてほしいなと思っています。

今号では、若林教頭先生にご寄稿いただいた青陵のICT推進状況についての記事をお載せしております。保護者が気になるところを、たいへん分かりやすく、とても詳しく教えてくださいたい内容です。若林教頭先生、お忙しい中、本当にありがとうございました。

また、夏に向けてのお知らせや嬉しいご報告も載せておりますので、是非最後までお読みいただけますようお願いいたします。

(PTA代表 丸山水穂)

後期教頭 若林春日

校庭の樺が夏の光で輝き、木陰をわたる風が心地よく感じる季節となりました。PTAの皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

こんにちは。後期教頭の若林と申します。仙台青陵中等教育学校の ICT の現状と今後の展望についてご報告いたします。

まずは年度初めの臨時休校に際し、保護者の皆様のご理解とご協力により本校は仙台市立学校の先駆けとして G Suite for Education を登録することができました。改めて御礼申し上げます。休校期間中は学級担任から生徒達へ連絡する手段として、classroom を用いて、毎朝の体温チェックと体調の確認、連絡事項の伝達、生徒からの質問など有効に活用させて頂きました。また、学校が再開された現在も連絡用のツールとして活用しております。目下のところ、担任は長い休みの後の生徒の様子を気に掛けております。そのため、週末などには生徒の生活状況を尋ねる担任からのメッセージなどを配信しております。

これらの担任と生徒との classroom でのやり取りにつきましては、管理職も閲覧できる仕様となっており、まさに現実の学校での生徒と教員のやり取りと同様の教育空間が web 上で再現されております。G Suite for Education は神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、福島県教育委員会等では県内の全生徒にアカウントを配布するなど、セキュリティ面でも信頼性が高く安心して使用して頂けます。

それから教科指導としての利用ですが、主に後期課程で授業の補助として使用されております。Web が利用しやすいか否かは教科の特性にもよるのですが、特に英語、化学、数学、体育などでは積極的に使用されており、課題の提出や回収を行ったりする他に、補足説明を行ったり、授業の感想を集めたり、工夫して活用しております。教員からはとても好評でした。さらに、教員のプレゼンテーション能力を含め、授業力向上についても、学校として積極的に取り組んでいきたいと思っております。

仙台市教育委員会からは、本校の ICT 教育を後押しする方針だと伺っております。年度内中にはタブレット導入や Wi-fi 環境の整備も予定されています。そうすると、Meet 等（双方向通信・動画）の利用可能性が広がります。しかしながら現状としての課題は、各家庭の Wi-fi 環境のばらつきであり、公平性をいかに担保しながら、どのように使用していくかの検討を行っているところです。

新型コロナウイルスには有効な治療薬が未だ開発されておられません。予防接種（ワクチン）の開発にも年単位の期間を要します。従って、再びパンデミックが起きる可能性は否定できません。死の恐怖に直結するウイルスを目前にして、予防を基本とする生活が続くこととなります。将来的には再び休校措置となる可能性も念頭に置いて、今のうちに遠隔授業ができる体制を確立しておく必要があります。

今後とも、学校から PTA の皆様へ何らかのご支援を願うことがあるかもしれません。その際には、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

祝・広報誌コンクール金賞受賞

広報委員会さんに発行して頂いている広報誌ですが、昨年度発行の広報誌が、この度、仙台市PTA協議会広報誌コンクールにて、金賞を受賞しました。委員の皆さんのご尽力、ご実績が評価されたものだと思います。

日頃の熱心な活動に感謝申し上げます。金賞受賞、誠におめでとうございます。

校内自動販売機の使用について

梅雨入りし蒸し暑い中で、登校する子供たちの持参する水筒もサイズアップしたのではないのでしょうか？

校内に設置されている自動販売機ですが、昨年度より、使用時間を守った上で前期生徒の使用を許可頂いております。原則として、各自飲料水持参です。しかしながら、青陵生は市内各所からの登校でもあり、荷物が増えることへの負担がある一方で、暑い中での活動、さらに今年はマスク着用が必須ですので、熱中症予防のため十分水分をとるためには、自動販売機が使用出来るのは大変ありがたい事だと思います。

各家庭において、使用のルールを確認して頂けると幸いです。

今の状況下でできるPTA活動を模索する日々ですが、皆様に協力をお願いしながら、子供たちの学校生活がより充実したものになるように活動して参ります。

今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

～～～環境整備委員さんが、校内の花壇に花の苗を植えて下さいました～～～



暑い中での作業、お疲れ様でした。